

教職員の時間外在校等時間縮減に効果の高い市町村の取組状況調査表

市町村名	久慈郡大子町
------	--------

1 時間外在校等時間の状況（市町村立学校の平均値）

区分	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月
小学校	23:05	30:39	37:49	43:33	33:07	39:12	28:34
中学校	31:03	37:12	47:19	52:03	52:12	51:59	40:04

2 教育委員会が実施（主導）する効果が高い取組の概要

【学校業務の削減・縮減に関する取組】（アウトソーシングを含む。）

○校長会で検討し、各学校ごとの判断で運動会、体育祭等の実施を半日とする。種目の削減により最大で13時間練習時間の短縮につながった。
 ○校内支援システムの導入をR4年度に予定している。出席簿、指導要録、通知表の入力データが一元化し、入力作業の重複が解消される。
 ○3学期制であるが、通知表は年度で2回の配布とする学校を認める。成績処理（所見記入）の時間が2回となり時間外勤務の短縮につながる。（依上小 上小川小）
 ○専科教師（理科、図工）の配置により、小学校担任の空き時間を生み出す。担任教師に空き時間ができ中休み、昼休み、放課後に行っていた宿題等の検閲時間が減って、学年会や教材研究の時間が勤務時間内に確保できる。

【教職員の意識改革に関する取組】

○学校全体で定時退勤日を設定する。（個人による週1回の完全実施を月ごとに自己申告する）
 ○働き方改革の手だて（方策）を教職員から意見募集する。
 ○職員会議要項を事前にGoogle Classroom等のツールで共有し、会議のペーパーレス化を図り、会議時間を1時間とする。
 ○出勤時間、退勤時間を「きんむ君」等により管理する。

【その他時間外の原因分析・解消に関する取組】

○町による給食費の無償化で、教職員の集金業務が削減された。
 ○R2年度の学校閉庁日より、今年度の学校閉庁日を増やす。（夏季休業中4日、冬季休業中3日、県民の日）
 ○Google Workspaceの活用により、学校だより等をインターネット送信にした。印刷、配付にかけていた時間がなくなった。
 ○下校指導等、立哨する教職員をグループごとの輪番制としたことで、残りの教職員が事務時間を確保することができる。
 ○教育支援ボランティアの協力を得る。（現在は実施校1校）
 ○留守番電話の設置は令和4年度を予定している。